

3 高等部

(1) 教育目標

一人一人のよさや個性を生かし、自ら感じ、考え、表現できる力を育てる。

【めざす生徒像】

- ・ 楽しさを感じ、主体となって学ぶ人(楽しんで学び続ける人:知)
- ・ 自分のよさが分かり、相手のよさに気付いて共感できる人(互いのよさを認め合い、人とつながりをもてる人:情)
- ・ 自ら考え、選択、決定し、自分の思いを表現できる人(自分の考えを表現し、生き生きと活動する人:意)
- ・ ありのままの自分を認め、自らの心と身体を大切にすること(命と心身の健康を大切にすること:体)

(2) 指導の重点

各教科	・各教科の指導では、教科のねらいや観点を明確にし、生徒一人一人の学びの履歴や連続性、学習状況などをおさえた指導の充実に努める。 ・各教科を合わせた指導では、生徒の生活に基づいたまとまりの中で、自然に学びの楽しさを感じ、学習意欲が高まるよう単元計画の立案に努める。 ・「なぜ、その学習に取り組むのか」「その学習から何を学ぶのか」「学習した学びを、将来どのように生かすのか」について考え、個別の指導計画の作成や学習単元の計画に取り組む。 ・性に関する指導について、学部で研修を行ってから指導内容を検討し取り組む。
特別の教科 道徳	・道徳教育全体計画に基づき、生徒の人権や尊厳を大切に、ありのままの自分を肯定的に感受できるような学習環境の整備や指導に努める。
総合的な 探究の時間	・交流学习等を通して、社会性を養い、人とかかわる力の育成に努める。 ・進路に関わる実際的な体験を通して、自ら考え、選択、決定し、将来にわたって自分の思いを表現できる力の育成を図る。
特別活動	・集団における自己を理解し、他者を受容できる力の育成に努める。 ・他学部の児童、生徒と協働した学習を行ったり、地域の人々と活動を共にしたりする学習を積極的に設ける。
自立活動	・生徒一人一人の心身の状態を適切に捉え、その状態の維持及び改善が図られるよう指導に努める。 ・生徒が、自らの健康状態を理解し、状況に応じて自ら表現することで困難を克服できるよう指導に努める。 ・生徒が、自らの気持ちを理解したり、感情を調整したりして安全に学校生活を過ごせるよう言葉掛けを含めた環境の整理、対人関係への配慮、集団活動での調整等を図る。

(3) 学部運営の重点

ア 心理的安全性を担保するチームとしての組織(学級、学年、学部)を目標に、多年度で計画的な運営を図る。

イ 教師の学びの機会、その充実に努めることで専門性や関係性を深め、教育活動の充実に努める。

ウ 訪問教育について学校、学部、学級間で連携し、教育内容の充実に努める。

(4) 学部運営の方針

ア 生徒と保護者と教師の信頼関係を深めるとともに、互いの人権や尊厳に配慮した言葉遣いや距離を意識する。

イ 学部全体及び学年全体で生徒についての情報共有を図り、生徒指導について話し合える環境を作る。

ウ 卒業後の生活を見据え、よりよい生活習慣を身に付け、分かる授業(合理的配慮に基づいた指導)による教育活動の充実に努める。

エ 進路指導について、教師、保護者が進路に対する知識や理解を深められるよう多年度で計画的に働きかける。

オ 「個別の教育支援計画」を積極的に活用し、学校、家庭、寄宿舎、関係機関等々の役割を理解し、連携を深める。

カ 健康で安全な学校生活の拡充を図るため、医療的配慮や医療的ケアを要する生徒についての指導体制や衛生管理体制を確立する。また、緊急時の対応についても教師間の連携に努め共通理解を図り、研鑽に努める。

キ ICT 機器の購入を積極的に勧め、効果的な指導や活用の充実、教育活動への拡大を図る。また、生徒の使用におけるルールやモラルについて、その学習機会を設定する。

ク 訪問教育について遠隔地の生徒も在籍しているため、生徒間の関わりや登校学習の実施等について、ICT 機器も使用しながら行う。